

## 第1章

# 調査の概要

本調査の目的や調査の内容等について掲載しています。

さらに、令和6年度からC B T全面実施に伴い、問題の正誤の状況に加えて解答時間等も把握することができるようになり、各学校での児童生徒の状況について、分析の幅が広がりました。

# 1 調査の概要

---

## (1) 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

## (2) 調査の対象

県内市町村教育委員会、小・中学校及び義務教育学校並びに小・中学校及び義務教育学校に在籍する児童生徒（教育委員会、小・中学校ともにさいたま市を除く）

### 【実施校数（実施人数）】

- ・ 小学校            6 7 3 校（ 1 3 6 , 2 6 4 人）
- ・ 中学校            3 4 7 校（ 1 2 7 , 6 3 6 人）
- ・ 義務教育学校      4 校（            6 8 9 人）
- ・ 県立中学校        1 校（            2 3 3 人）

## (3) 調査の内容・方法

### ア 調査の内容

#### (ア) 児童生徒に対する調査

##### a 教科に関する調査

##### (a) 対象学年及び対象教科

小学校第 4 学年から第 6 学年まで      国語、算数

中学校第 1 学年                              国語、数学

中学校第 2 学年及び第 3 学年              国語、数学、英語

義務教育学校第 4 学年から第 9 学年まで（小・中学校の該当学年に準ずる）

##### (b) 出題範囲

学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前学年までの内容

##### b 質問調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

#### (イ) 学校及び市町村教育委員会に対する調査

学校における教育活動並びに学校及び市町村における教育条件の整備等に関する事項

### イ 調査の方法

C B T（Computer Based Testing）

## (4) 調査実施日等

### ア 実施日

令和7年4月23日（水）～5月21日（水）

### イ 調査時間

（ア） 教科に関する調査は各教科1単位時間

（小学校1教科40分、中学校1教科45分）

（イ） 質問調査は小学校、中学校とも20～30分程度

## 2 CBT化と解答ログ

令和6年度調査から、パソコンやタブレットを使用したCBTを全校で実施しています。動画で授業場면을再現した出題が可能となり、児童生徒の日頃の学習に即した出題が可能となりました。また、児童生徒の見直しの状況を把握できるようになったため、学習支援が必要な児童生徒の早期発見につながります。

児童生徒一人一人の学習意欲や学力のさらなる向上に向け、CBTの特長を十分に生かして取り組むことが期待されます。

### 【参考例】映像を活用した問題

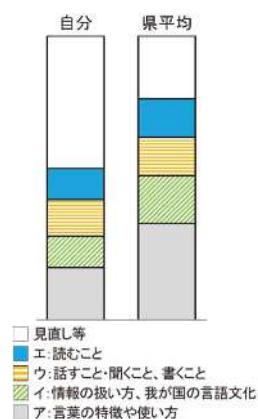


○動画で授業場면을再現した出題が可能

### 【参考例】個人結果票の一部

	あなたの 正答数	問題数	あなたの 正答率 (%)	埼玉県 平均正答率 (%)	あなたの かけた時間	県平均 かけた時間
ア	14	17	82.4	68.0	07分24秒	13分39秒
イ	5	6	83.3	64.2	04分25秒	06分40秒
ウ	2	5	40.0	51.3	05分07秒	05分26秒
エ	2	3	66.7	57.5	04分24秒	05分27秒
全体	23	31	74.2	63.6	21分20秒	31分12秒

未解答の問題	表示していない問題	あなたの 見直し等の 時間	埼玉県の 見直し等の 時間の平均
なし	なし	18分40秒	08分48秒



領域等	言葉の特徴や使い方
問題の概要	適切な接続語を選択する
見直し回数	1 正誤 正 県正答率 89.3%
かけた時間	00分23秒 かけた時間 県平均 00分22秒

○正誤の状況に加えて解答時間等を分析することで、より細かく児童生徒のつまづきを把握した指導改善が可能

例えば、【参考例】個人結果票の一部にある「ア：言葉の特徴や使い方」では、「埼玉県平均正答率 (%)」よりも「あなたの正答率 (%)」は高く、「県平均かけた時間」よりも「あなたのかけた時間」は短いことから、発展的な内容の学習を行うことなどが考えられます。